

Kyoko Kaise

第6回 狩野川クラシックコンサート

クラシックの音色に触れる



海瀬 京子 かいせ きょうこ (ピアノ)

静岡県伊豆の国市(旧菰山町)出身。5歳よりピアノを始め、西島淑恵、高原節子、塩谷安圭美の各氏に師事。東京音楽大学付属高校入学後より播本三恵子、倉沢仁子の両氏に師事。2001年、第55回全日本学生音楽コンクール東京大会ピアノ部門高校の部第2位。2002年、第1回東京音楽大学コンクールピアノ部門第1位。2004年、第28回ピティナピアノコンペティション特級準金賞および聴衆賞、併せてロイズ賞、三井ホーム賞、王子賞を受賞。2003年、2005年、第8回、第10回浜松国際ピアノアカデミーに参加。2005年、第74回日本音楽コンクールピアノ部門第1位。併せて野村賞、井口賞、河合賞を受賞。これまでに東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、セントラル愛知交響楽団、ラスカ祝祭管弦楽団、沼津交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、緑交響楽団、群馬交響楽団と、矢崎彦太郎、現田茂夫、松尾葉子、広上淳一、横島勝人、工藤俊幸の各氏と共演。また、NHK交響楽団首席メンバーと室内楽を共演。2007年度より(財)ロームミュージックファンデーション奨学生となる。現在、東京音楽大学大学院2年に在学中。

金丸 克己 かなまる かつみ (指揮者)



大阪府出身。1996年相愛大学音楽学部器楽学科(ユーフォニアム専攻)卒業。大学3年生より指揮活動を開始し、相愛大学卒業後、ドイツ・ハノーファー音楽大学指揮科にて研鑽を積んだ。ユーフォニアムを椿弘、三宅孝典、三浦徹の各氏に、指揮を斉田好男、佐藤功太郎、曾我大介、秋山和慶、ロレンツ・ノルドマイヤー、大植英次の各氏に師事。1999年7月ハンガリー・チョルナ市において行われた国際指揮者講習会を受講し、修了演奏会にてルーマニア国立「デイス・リパティヴィル」を指揮。2001年3月、千葉市民オペラ公演「カルメン」において小松一彦氏の、2003年3月、「ラ・ボエーム」公演ではフォルカー・レニッケ氏のアシスタントを務めた。

2002年12月には埼玉オペラ協会公演「椿姫」では時任康文氏のアシスタントを務めた。2000年から兵庫県・伊丹市民オペラの副指揮者としてオペラ制作に携わっている。自身でも2001年10月、上方オペラ工房公演「ドン・パスクワレ」、また2007年11月には千葉市管弦楽団第54回定期演奏会において「カヴァレリア・ルスティカーナ」を指揮した。2003年7月に開催された「アマチュアオーケストラフェスティバル 横浜大会」に副指揮者として参加し、岩村力氏のアシスタントを務めた。また2005年5月には、大阪・シアターBrava柿落とし公演「ナイン The musical」を指揮した。現在、オーケストラや吹奏楽、オペラの指揮・指導など幅広い活動を展開している。

Katsumi Kanamaru



伊豆フィルハーモニー管弦楽団

平成5年11月に誕生した伊豆フィルは、翌年4月に第1回定期演奏会を開き、以来ほぼ年に2回の定期演奏会を重ね、伊東市成人式典(平成7年)、伊東市庁舎オープニングコンサート(同)、伊東市制50周年記念の第九演奏会(平成9年)、県民の日コンサート(平成10、11年)を開催するなど、広く地域に親しまれてきた。伊東市以外においても定期演奏会下田公演や、伊豆の国市(旧菰山町)菰山小学校、東伊豆町稲取中学校等で音楽教室を開くなど、演奏地域も広範囲に及んでいる。この様な地域に根ざした音楽活動が認められ、平成11年2月に静岡県文化財団より「奨励賞」、同年3月NHK静岡より「あけぼの賞」、平成15年に伊豆新聞社より「伊豆賞」が贈られている。また10周年を

記念した平成16年6月の第19回定期演奏会での、オペラ「カヴァレリア・ルスティカーナ」公演(2日間)では、伊豆フィル合唱団を組織した本格的な原語上演や、その斬新な舞台演出で県内外からの観客に大きな感動を残した。平成17年5月には、伊豆市(旧土肥町)で「青少年のためのコンサート(無料)」を実施し、最近では平成19年12月にシベリウスの交響曲第二番をメインに第25回定期演奏会を終えたばかりであり、伊豆フィルは常に積極的な活動を展開している。

●ホームページアドレス <http://www.izu-phil.org/>